

各 位

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合

株式会社ポッカコーポレーションの株式譲渡について

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合(以下「AP」)がサービスを提供するファンド(以下「AP ファンド」)は、その保有する株式会社ポッカコーポレーション(以下「ポッカ社」)の全株式をサッポロホールディングス株式会社(以下「サッポロHD社」)に譲渡することに合意致しましたのでお知らせいたします。あわせて、ポッカ社とサッポロHD社は、2011年2月10日、経営統合に向けた協議を開始することを決議し、今後、国内外における酒類・飲料・食品・外食分野において競争力に富んだ「食品価値創造グループ」を形成することを目的に、速やかに協議に着手する予定です。

ポッカ社は、食品・飲料業界の厳しい環境において勝ち残るため、抜本的な事業構造改革の実施を決断し、2005年にAPファンドや CITIC Japan Partners の支援を受け、MBO を実施いたしました。MBO 実施後、全社に亘る意識向上と収益構造改革を図るとともに、高品質で強いブランド力を持つレモン、スープを核とした食品事業の伸張、また、飲料事業・外食事業で長い歴史を持ち、今後も経済発展が期待されるアジア市場におけるより一層のプレゼンス向上を事業拡大の柱と位置付け成長戦略を再構築し、MBO 後の利益体質の強化に成功しました。更に、経営の独自性を維持しながら事業シナジーを追求することができる戦略的パートナーとして、明治製菓社、サッポロ HD 社と資本業務提携を結び、相互に協力を重ねながら様々なシナジー創出への取り組みに着手してきております。

ポッカ社はサッポロHD社との間で、2009年9月に資本業務提携を締結以来、自動販売機事業の強化、商品の共同開発、営業・販売協力、生産体制の最適化、共同調達の実現、共同物流体制の構築等でのシナジー効果発揮による企業価値向上に取り組んでまいりました。今年度に入りポッカ社は主に国内における生産、共同調達、共同物流の面での協業メリットの取り込みを実現し一層の独自成長を成し遂げてきており、サッポロ HD 社との企業文化の親和性も確認しております。

提携後の協働を通じて相互の信頼関係がより強固なものとなる中、ポッカ社及びAPファンド並びにサッポロHD社は、昨今の厳しい市場環境を乗り越えて今一層の存在感を発揮するためには、現在の資本業務提携関係のステージをさらに上げ、一体となった企業グループを形成して協働を加速させることが最善の方策であるとの判断に至りました。今回の株式譲渡は、一層の業容拡大を目指すポッカ社及びAPファンドと、飲料・食品事業の収益強化を目指すサッポロ HD 社の意図が合致した事によるものです。

今後ポッカ社とサッポロHD社は、速やかに統合委員会を設置します。対等の精神での経営統合を前提にした上で、国内外における酒類・飲料・食品・外食分野で競争力と差別性を備えた「食品価値創造グループ」誕生を目指し、社名、組織の変更も含めて協議を開始します。

以 上